

三重労働局発表  
平成19年6月29日

担当	三重労働局労働基準部安全衛生課
	安全衛生課長 伊藤 勲
	安全衛生課長補佐 行岡 清博
	産業安全専門官 松田 滋
電話	059-226-2107

## 平成19年度全国安全週間

### 建設業リスクアセスメント推進大会 in 四日市の開催について

三重労働局（局長 村上竹男）は、平成19年度全国安全週間（7月1日から7月7日）中である7月3日（火）に、四日市市において建設業者を対象とした建設業リスクアセスメント推進大会を開催する。

この大会では、リスクアセスメントの方法や災害防止への有効性などに関する基調講演を行い、既に取り組を行っている事業者からの事例を紹介する。

三重県内の労働災害の発生状況は中長期的に減少傾向にあったものの、平成17年から増加に転じ、本年（5月末日現在）も死傷災害件数は846件で、昨年比34件増（+4.2%）と3年連続で増加している状況である。

建設業においては、平成17年に年間424件の過去最低を示した後、平成18年は461件と37件（8.7%）増加し、死亡災害は9件、一度に死傷者が被災する重大災害は2件から4件へと倍増している。本年（5月末日現在）は、死傷災害は136件で昨年比10件（6.7%）減少しているものの、死亡災害についてはすでに5件（昨年2件）発生している状況である。

全国的な労働災害の増加傾向（死傷者件数、重大災害件数）の背景には、最近の景気回復による業務の繁忙化等により安全管理が低調となっていることが考えられ、また今後は、団塊世代の労働者の大量退職による安全のノウハウの継承が危惧されることとあり、昨年4月に改正された労働安全衛生法において努力義務化された「事業者による自主的な安全衛生管理を行うリスクアセスメントの実施」がこれらの労働災害防止上有効であるとされることとされることである。

全国安全週間は、昭和3年にはじめて実施されて以来「人命尊重」という崇高な理念の下、本年度80回目を迎え、以上のような趣旨から、本安全週間（7月1日から7月7日）は、

「組織で進めるリスクの低減 今一度確認しよう安全職場」

のスローガンで展開される。

三重労働局は、この週間中である7月3日（火）に、建設業界へのリスクアセスメントの普及を図るため、別添のとおり「三重建設業リスクアセスメント推進協議会」と共催し、「建設業リスクアセスメント推進大会 in 四日市」を開催するものである。

別添

## 平成 19 年度 全国安全週間

### 建設業リスクアセスメント推進大会 in 四日市

- 1 日 時 平成19年7月3日(火) 13:30~15:00
- 2 会 場 四日市市安島2丁目5-3  
四日市市文化会館第4ホール  
電話059(354)4501
- 3 開催者 三重労働局  
三重建設業リスクアセスメント推進協議会
- 4 大会次第 挨拶 三重労働局労働基準部長  
基調講演 同 安全衛生課長  
同 労災防止指導員  
事例発表 清水建設株式会社  
柳有限会社
- 5 報道対応 会場内開放とします。
- 6 その他 事例発表の後、四日市・津労働基準監督署が主唱し、当日参加している建設事業者(三重建設業リスクアセスメント推進協議会会員及び建設業労働災害防止協会三重県支部(桑名・四日市・鈴鹿・亀山・津・一志分会会員))による7月1日から123日間の無災害運動「ゼロ災達成123運動キックオフ」が行われます。